

函館クリップ  
「空想の森」  
上映実行委員会  
事務局/函館映画鑑賞協会  
函館市堀川町10-11  
0138-52-0193 (FAX同じ)  
提供:フリーペーパー青いはずと

## 農に生きる2家族の日常描く

ドキュメント「空想の森」27日上映会

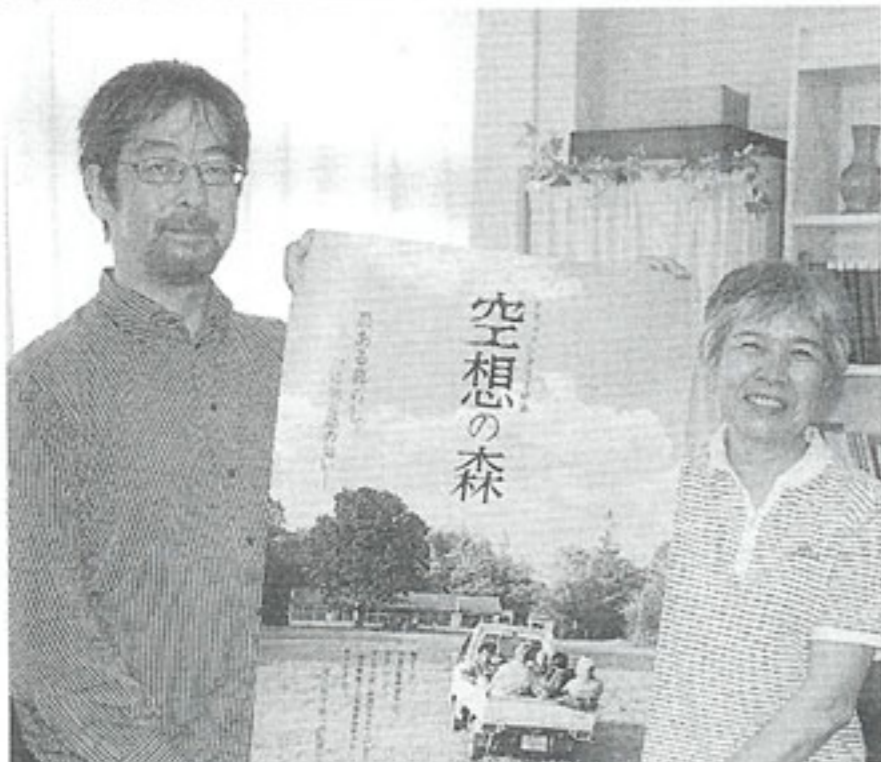
田代陽子監督「写真上(右から2人目)」のドキュメンタリー映画「空想の森」上映とトークの会が9月27日(日)、函館市民会館小ホールで開催される。函館映画鑑賞協会の創立29周年記念した特別例会で、主催は「『空想の森』上映実行委員会」。

1996年に新得町で小さな映画祭が開かれた。参加していた田代さんは、そこで上映していたドキュメンタリー映画と新得町に暮らす人々に魅了され、「空想の森」を作った。同作品は新得町に30年前移住した「宮下農場」のオーナー夫妻と、「共働学舎」で暮らす夫婦の2家族を軸に、食卓の風景、土の上で働く姿など何気ない日常を丁寧に描いている。

社会の中で生きづらさを感じ

じている人、障がいを持つ人とともに農に生きる新得共働学舎。同舎で結婚をし、子育てをしながら野菜を作っている山田さん夫妻は「自分達にとって共働学舎とは」「野菜を作ることは」と考え、そして家族で独立するかどうかを悩む。また、70年代後半に食べ物を作って暮らしていたと京都から新得町に移り住んだ宮下さん夫妻は、機械や農業を使わない農業を実践している。自然の中で支え合い、ゆっくり流れる時間が言葉にならない言葉で描かれる。

当日は3回の映画上映と、田代陽子監督を迎えてのトークを予定。1回目の上映は10時30分から、トークは12時40分から。2回目は14時から、トークは16時10分から。3回目は17時30分から、トークは19時40分から。チケットは一般前売り1200円(当日1500円)、学生・障がいを持つ人は800円(当日同)。チケットは事務局、函館市民会館ほか、協力店で取り扱っている。



同実行委員会の代表で、共働学舎で生活したことがあるという池田誠さん(写真左)は「96年、函館市民会館ほか、協力店で取り扱っている。」